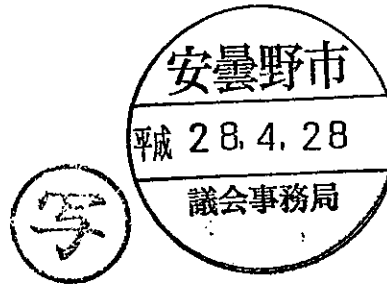


様式第6号（第6条関係）



平成 28 年 4 月 28 日

安曇野市議会議長 浜 昭次 様

会 派 名 民心・無所属の会
代表者氏名 荻原 勝昭
経理責任者氏名 増田望三郎

平成 27 年度（平成 27 年 11 月～平成 28 年 3 月）政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成 27 年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

（単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
政務活動費	112,500	7,500 円×5 カ月×3 人分（荻原、林、増田）
	30,000	7,500 円×4 カ月×1 人分（小林）
合 計	142,500	

支出の部

項 目	決 算 額	備 考
調査研究費	13,770	情報公開請求コピー代 総額 14,190 円の内、13,770 円を充当
	19,690	視察交通費 ※詳細、視察報告書は別紙
研修費	12,578	研修旅費総額 13,140 円の内、 12,578 円を充当
資料購入費	65,583	書籍・新聞等購入代 総額 68,105 円の内、65,583 円を充当

広報費	3,000	ホームページの運営管理費 総額 14,700 円の内、3,000 円を充当
	25,179	広報紙の発行代 総額 50,358 円の内、25,179 円を充当
広聴費	2,700	会派活動報告会の会場代、資料作成代、案内はがき代 総額 2,740 円の内、2,700 円を充当
合 計	142,500	

2 収入支出差引残高 0 円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	情報公開請求	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	情報公開請求により出てきた情報をもとに、政策立案や政策見直し等につなげるため。	
活動の概要	日時	随時
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・情報公開請求は次の機関に対して行った。 安曇野市 農業委員会
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	・議員に限らず市民がわがまちの身近な政治に関心を持ち、どんどん情報公開することで、行政が開かれ、風通しがよくなり、市民に近い政治が実現すると考え、積極的に情報公開請求を行っている。 ・「太陽光発電施設の特定開発に係わる文書」や「増田建設産業の防音壁の補強工事に係わる文書」では、公文書公開しなければ出てこなかった情報や事実が明らかになり、政策提案や問題提起することができた。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	公式スポーツ施設整備計画についての庁内会議資料の情報公開請求	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	総合体育館建設計画の是非についての調査	
活動の概要	日時	平成 27 年 12 月 3 日
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	公式スポーツ施設整備計画についての庁内会議資料の情報公開請求における公文書のコピー。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	総合体育館建設にあたり、庁内会議においてどのような議論がされているのかを確認するため。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	北小倉廃棄物処理施設問題についての情報公開請求	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	北小倉廃棄物処理施設問題についての調査	
活動の概要	日時	平成 27 年 12 月 2 日 平成 28 年 1 月 5 日、1 月 25 日、2 月 16 日
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	北小倉廃棄物処理施設問題についての県地方事務所環境課資料の情報公開請求における公文書のコピー。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	北小倉廃棄物処理施設の廃棄物処理が適切になされているか、県に提出するマニフェストで確認するため。定例会一般質問での予備資料となった。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	京都府内における多文化共生、国際理解・国際交流の取り組みについての調査研究	
活動区分	①調査研究	
活動の目的	京都府内における多文化共生、国際理解・国際交流の取り組みについて学び、安曇野市の多文化共生、国際理解・国際交流の振興の参考とする。	
活動の概要	日時	平成 28 年 3 月 22 日 (火) 午後 1 時 30 分から 午後 5 時 30 分まで
	研修先・主催者等	公益社団法人 高麗美術館 (京都市北区) 主任学芸員 金 泰蓮さん 京都府庁 (京都市上京区) 京都府国際課 主事 賀川達也さん、京都府教育庁指導部学校教育課 指導主事 上田智子さん、同課企画振興担当 主事 良澤尚則さん、京都府教育委員会高校教育課振興担当 副課長 飯田俊樹さん
	報告内容・実施したこと。	<p>京都府内には在日韓国・朝鮮人を始め、多くの外国籍住民が居住している。韓国・朝鮮の芸術文化を学ぶとともに、京都府の多文化共生、国際理解・国際交流の取り組みの実態を学んだ。</p> <p>高麗美術館 (こうらいびじゅつかん) は京都府京都市北区にある美術館である。研究所として高麗美術館研究所を付置している。京都駅から京都市バスで加茂川中学前下車すぐの所にある。1988年に開館し、高麗青磁・朝鮮白磁をはじめとする陶磁器や、考古資料、絵画、民俗資料など、朝鮮半島の美術工芸品 1,700点を収蔵する。在日朝鮮人一世の実業家である鄭詔文 (チョン・ジョムン、1918年 - 1989年) の蒐集品をもとに創設された。収蔵品である朝鮮の美術品はすべて日本で蒐集されたものである。鄭詔文は、美術品を通して朝鮮の歴史と文化の理解を深め共感を分かち、また在日一世としての経験から「同胞の若い人々」が祖国の風土を感得することを宿願としていた。解説をしていただき日韓関係の理解が深められた。</p> <p>京都府庁は京都府京都市上京区にあり、京都市バスで堀川下立売下車近くにある。京都府国際課では、外国籍府民が暮らしやすい多文化共生社会の形成を推進する施策や課題について、意見交換・整理を行い、知事に意見を提出する「京都府外国籍</p>

	<p>府民共生施策懇談会」や、公益財団法人京都府国際センターを通じての、多文化共生のための地域づくり（留学生等支援事業、留学生等の交流推進、災害時支援事業、日本語学習支援事業、外国人児童等教育支援事業、多文化共生推進体制の整備、多文化共生情報発信事業）、国際交流・国際理解の推進、国際協力の推進などが紹介された。京都府教育庁指導部学校教育課では、外国籍児童・生徒への日本語等の支援などが紹介された。京都府教育委員会高校教育課振興担当では、京都次世代グローバル人材育成事業（英語教育のための基盤強化、高校生の海外留学支援等、多様な文化の理解促進）や高校生伝統文化事業や中国帰国孤児子女特別入学者選抜などが紹介された。有効な事業等の理解が進んだが、京都府の他に京都市の取り組みについても学ぶ必要があることを感じた。</p> <p>これらの視察を安曇野市の多文化共生、国際理解・国際交流の振興の参考とし、発展に貢献したい。</p>
<p>まとめ（感想・市政に活かせること等）</p>	<p>京都府内の先進的な多文化共生、国際理解・国際交流の取り組みを参考にし、安曇野市の多文化共生、国際理解・国際交流の取り組みを向上させたい。そして、安曇野市政の発展に貢献したい。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	議員と市民の勉強会&市民派議員アドバンスコース《政策研究会》に参加	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	市民派女性の政治参加をすすめる「女性を議会に無党派・市民ネットワーク」（略称「む・シネット」）は、「ジェンダーの視点を基本に、権威主義を排し、性にとらわれないでその人がその人らしく能力が発揮でき、個人として尊重される、公平・公正で平和な社会をめざす」市民派議員をふやすことと、その議員の資質向上を目的に「議員と市民の勉強会」を開催する等の活動をしている。	
活動の概要	日時	2016年1月24日（日）午前9時～午後4時
	研修先・主催者等	ウィルあいち（愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地） 主催 女性を議会に 無党派・市民ネットワーク 講師 寺町ともまさ 寺町みどり
	報告内容・実施したこと。	第3回「議員と市民の勉強会&市民派議員アドバンスコース《政策研究会》」を受講
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	「む・シネット」の会員になって11年。本年度の研修参加は1回だけになったが、毎年できる限り参加し、議会で働くために必要な各種の基本を身につけるため研鑽を深めてきた。 今回のテーマ ①政策に取り組む地方議員としての課題解決の方法について、 ②自治体事業のアウトソーシングの是非について 事前に所属自治体のアウトソーシングの現状についてのレポート作成等の課題があり、中身の濃い実践的な勉強会となった。 講師：寺町みどり氏 寺町知正氏 *経費について ・受講料 20,000 円は無所属議員として交付された政務活動費（2015年4月～11月分）から充当済み。 ・交通費 J R 明科～名古屋往復料金 13,140 円の一部を政務活動費から充当。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本の政治、経済、財政、文化の情報収集と調査研究	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	市政の政策判断、提言のため	
活動の概要	日時	平成 27 年 10 月 16 日 () から 平成 28 年 3 月 31 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと	新聞「赤旗」、雑誌「経済」「農民新聞」「新自由主義の自滅」「TPP 秘密交渉の正体」「郵政崩壊と TPP」「原発と戦争を押し進めるおろかな国日本」を購入し調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	アベノミクス、消費税増税、戦争する国づくり、原発問題、新自由主義政策、小さな政府、TPP、社会保障、貧困問題等々市民生活に影響のある事項については、発言討論等に取り上げた。特に「TPP」と「小さな政府」については議会一般質問で取り上げ、議員活動報告会や市民に伝えた。安保法制廃止と TPP 協定批准反対を呼びかけている。

別紙

政務活動実施状況

活動名	日本国憲法と集団的自衛権の行使、新安保法制を学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	自由と平和・民主主義を守り、戦争をする国にさせないため	
活動の概要	日時	平成27年10月16日()から 平成28年3月31日()まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「検証・安保法案どこが憲法違反か」。「憲法と平和を問い直す」『新国防論』を購入し研究調査した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	憲法に定める平和主義・基本的人権・立憲主義の観点から、国の政治、集団的自衛権の行使と国防の関係市の政治のあり方について、議会討論・議員活動報告会・市民集会等々で発言し、解説に活かした。市民の皆さんに国民主権・住民主権であることを自覚し、政治判断は憲法に基準を置かなくてはならないことをしっかりと情報発信していくことは大変に重要である。

別紙

政務活動実施状況

活動名	民主主義について国、地方の政治のあり方を学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	現在を歴史の中で正しく認識するため	
活動の概要	日時	平成 27 年 10 月 16 日 から 平成 28 年 3 月 31 日 まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「民主主義を立て直す」を購入し、調査研究した。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	政治は誰のものかを日本の政治課題を検討することによって、考察した。また地方自治の観点から民主主義再生と地方創生とは何かを市政に生かすべく思考している。

別紙

政務活動実施状況

活動名	物事に対する思考法について学ぶ。	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	人間存在を根本的に捉えるため	
活動の概要	日時	平成 27 年 10 月 16 日 () から n平成 28 年 3 月 31 日 () まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「戦略的思考とは何か」を購入して調査研究した
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	戦略的思考とは何かの事実に根拠を置く思考法である。日本の歴史的事実から分析し、解決のための手法として、論理的な組み立てに参考になった。

別紙

政務活動実施状況

活動名	新自由主義政策によって生じた格差社会、貧困状況を調査研究する	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	格差社会がどのような政策によってもたらされ、格差を解消する政治を提言するため	
	日時	平成 27 年 10 月 16 日 () から 平成 28 年 3 月 31 日 () まで 時 分から 時 分まで
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	「ルポ貧困大国アメリカ, 同Ⅱ」「(株) 貧困大国アメリカ」を購入し、調査研究した。
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	アメリカの貧困の状況が記述されていて、政策策的に同様な日本の行く末に、大変参考になる。米国は 1981 年に就任したレーガン大統領によって「小さな政府」と言う政策が進められた。その結果もたらされた貧困社会がルポされている。日本は中曽根行革, 小泉構造改革によって米国と同様の政策が進められた。日本も米国と同じにならないようにしなければいけない。それには所得の再分配をきちっとする政治が重要である。地方政府を構成する市長に小さな政府に対する考え方等について一般質問する。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	定期購読
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・「日本教育新聞 Web 版」の定期購読 http://www.kyoiku-press.co.jp/
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	・「教育」だけに特化し、週刊で情報を提供している新聞。 ・Web 版は日本教育新聞データベースを利用でき、過去記事を検索できるが便利。 ・2016年01月25日号（3歳未満の「教育」と3歳以上「養護」議論～保育指針改定に向け検討委員会）、2016年02月01日号（質向上へ 保育を開く～幼保の枠を超えて定期的に研修）、2016年03月14日号（特別支援教育充実待ったなし～障害者差別解消法・施行目前）等々の記事が特に印象に残っており、議員活動の課題として今後も調査研究していきたい。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	政策立案につなげるための議員調査研究活動	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員としての資質の向上と政策立案能力を高めるため	
活動の概要	日時	定期購読
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・議員 NAVI の定期購読
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの隔月刊の「情報誌」は概要速報的なものに縮小され、すべての記事・情報は「専用 WEB サイト」に移行した。 ・地方議会議員に必要な政策立案・実行に関する情報を「情報誌」と「専用 WEB サイト」から入手できる。また、公布された法律はすべて掲載されているので、法律の制定状況・法律の概要・市区町村への影響等を必要に応じてすぐに調べることができるので重宝している。 ・情報検索提供サービスを利用して、一般質問や政策提案に役立てた。（地下水保全についての全国各自治体の条例や先進事例（具体的な規制）について等。）

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。政務活動実施状況

別紙

政務活動実施状況

活動名	政務活動に関する資料購入	
活動区分	④資料購入	
活動の目的	政務活動のために資料購入をする。	
活動の概要	報告内容・実施したこと。	<p>政務活動のために資料購入をした。</p> <p>図書 書籍 12 冊</p> <p>『自由と民権のさきがけ 松沢求策ものがたり』 松沢求策顕彰会 信濃毎日新聞社</p> <p>国民を国会開設運動に立ち上がらせるため自らを犠牲にして闘い、自由と民権のさきがけとなった松沢求策。その伝記を、こどもにも読めるように「ものがたり」として描く。</p> <p>『安曇野文芸 No. 33』 安曇野文芸の会 代表 中島博昭 安曇野文芸の会</p> <p>今年 拾ヶ堰の開削により 現在の安曇野が誕生して二百年目を迎えた 安曇野 200 年特集</p> <p>『里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く (角川 one テーマ 21 C-249)』 藻谷浩介 NHK 広島取材班 KADOKAWA</p> <p>課題先進国を救うモデル。その最先端は“里山”にあった!! 危機を超え未来を生む、すり潰されない生き方を提言!!</p> <p>『地方の未来が見える本』 清丸恵三郎 洋泉社</p> <p>「地方再生」とは何なのか。成功事例の現地レポートとリアルな永久創生論で、自立した地域活性化モデルを浮き彫りにする!</p> <p>『交響する都市と農山村 対流型社会が生まれる (シリーズ 田園回帰 4)』 沼尾波子 農山漁村文化協会</p> <p>人口減少と高齢化、「成長」時代の終焉、そして未曾有の財政難…縮んでいく日本をどうすればよいか、いま問われている。これからの時代に求められるのは、農山村を手放すことではな</p>

く、都市と農山村の関係を結びなおすことではないか。それぞれの魅力を知り、交わることから、多様性をもった豊かな日本が生まれる。都市と農山村を軽やかに行き来する人たちの経験と語りをとおして、人口減少時代の新たな「対流」の形を提示する。

『弱者の居場所がない社会—貧困・格差と社会的包摂（講談社現代新書 2135）』 阿部 彩 講談社

これらの「小さな社会」は、人が他者とつながり、お互いの存在価値を認め、そこにいるのが当然であると認められた場所である。これが「包摂されること」であり、社会に包摂されることは、衣食住やその他もろもろの生活水準の保障のためだけに大切なのではなく、包摂されること自体が人間にとって非常に重要となる。「つながり」「役割」「居場所」から考える貧困問題の新しい入門書。

『あなたのまちの政治は案外、あなたの力でも変えられる（ディスカヴァー携書 161）』 五十嵐立青 ディスカヴァー・トゥエンティワン

保育所・学童保育が足りない、街灯が少ない、図書館が使いにくい、無駄な公共事業が多い…行政に働きかけて生きやすい、育てやすい、働きやすい環境をつくるためのガイドブック!!

『沈まぬアメリカ 拡散するソフト・パワーとその真価』 渡辺 靖 新潮社

教育、文化、宗教、資本主義など、20世紀を支えた、米国発のソフト・パワー。その光と影に迫る、現代アメリカ論。

『「教育超格差大国」アメリカ（扶桑社新書 206）』 津山恵子 扶桑社

「教育格差」が呼び込むダメージは「知性」「常識」「意識」にまで及ぶ!ニューヨークを拠点に世界で活動するジャーナリストが見たアメリカ格差社会の衝撃の真実!

『ハーバードでいちばん人気の国・日本 なぜ世界最高の知性は

	<p>この国に魅了されるのか (PHP 新書 1029)』 佐藤智恵 PHP 研究所</p> <p>世界最高学府はいま日本のことをどうみているのか。ハーバード教授陣へのインタビューを通してみえてくる日本の強みとこれからの戦略。</p> <p>『外国人は日本文化の「何」を知りたがっているのか—そのエッセンスは茶道の中に—』 山崎武也 淡交社</p> <p>異文化人への茶道普及に長年携わってきた著者書き下ろしのエッセイ 48 編。</p> <p>『これだけは知っておきたい日本と韓国・朝鮮の歴史』 中塚明 高文研</p> <p>無自覚のうちにも偏見と誤解に虫食われた歴史観を克服し、事実にもとづく歴史認識を「国民的常識」に導く。日朝関係史の第一人者が、古代から現代までエッセンシャルな事項を選んで、平易明快に説いた入門書。</p>
<p>まとめ (感想・市政に活かせること等)</p>	<p>政務活動のために購入した資料を活用し、安曇野市政に役立てたい。市議会議員の任期を通じて十分に活用していきたい。</p> <p>安曇野の偉人を顕彰するための松沢求策の研究や、拾ヶ堰の開削により現在の安曇野が誕生して二百年目の研究は、安曇野のプライドを高めるとともに安曇野を発信していくために、役に立っている。</p> <p>また、地方創生の一環として安曇野を活性化していくために、里山資本主義の発想や、地方再生や、都市と農山村の対流型社会の発想を役立てていきたい。</p> <p>そして、貧困・格差と社会的包摂の考え方や、行政に働きかけて生きやすい、育てやすい、働きやすい環境をつくるためのガイドは、安曇野の福祉教育の向上のために役に立つ。</p> <p>それから、米国発のソフト・パワーの光と影や、アメリカ格差社会の研究や、世界最高学府がみている日本の強みとこれからの戦略は、日本および安曇野の社会を考え、政策提言していくために役に立つ。</p> <p>その他、安曇野の異文化理解および多文化共生の推進のために、日本文化や、日本と韓国・朝鮮の歴史を理解しておくこと</p>

		は、役に立っている。
--	--	------------

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	ホームページの運営管理	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の活動を市民に広報し、広く市民の意見・提案を求めるため	
活動の概要	日時	随時（一か月に数回のペースで情報更新）
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	・ホームページによる広報広聴を行った。 小林純子 http://junko.voicejapan.net/
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	市民から多くの意見や相談が寄せられたので、今後の活動に活かしたい。調査検討して行政に提案中のものもある。 主なものは、次の通り。 1、上水道の給水工事に関わるトラブルに関する相談 2、安曇野で「こども食堂」開設に向けて市民としてできることはないか 3、2013年に千曲市で行われた空中散布での飛散調査の結果を踏まえた安曇野市の松枯れ対策について 4、安曇野市の除雪作業の課題について 5、建築基準法第43条但し書き並びに同第42条2項に係る住宅の安全上の課題、特に緊急用車両の通行不能の問題についての相談 6、教育相談、生活相談、パワハラ等の労働相談など *経費について ・ホームページの運営管理費4か月分14,700円のうち、1/4を会派としての広報広聴とみなし政務活動費を充当。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	市議活動だより（市議広報紙）の発行	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	増田望三郎市議の活動を市民に広報するため	
活動の概要	日時	平成28年1月14日に発行
	研修先・主催者等	増田望三郎市議活動広報紙『レインボウ通信第9号』の発行。
	報告内容・実施したこと。	・議員活動の広報紙を作成し、新聞折り込みや市議活動報告会他で配布した。レインボウ通信は毎回定例会後に発行し、今年度は4回発行した。うち、1回分の第9号の費用の一部に政務活動費を使わせて頂く。なお、該当の広報紙を添付する。
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<p>・市民から意見が寄せられたので、今後の活動に活かしたい。</p> <p>主な意見は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、マンガがいつも面白い。とっつきにくい政治を市民に工夫して分りやすく紹介している。 2、議会の傍聴にも行ったが、北小倉の廃棄物処理施設の問題は、それが位置する一地域だけの問題ではなく、安曇野の地下水を汚す可能性があり、市全体の問題だと思った。これからも強い関心を持っていく。 <p>引き続き、議会や議員活動について発信を続ける。</p>

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	会派の活動報告会の開催 『民心・無所属の会 活動報告会』	
活動区分	①調査 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議員の活動を市民に広報し、広く市民の意見・提案を求めるため	
活動の概要	日時	日時：1月17日（日）午後1時30分～3時30分 場所：穂高会館学習室
	研修先・主催者等	
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・3月定例議会の報告、市民との意見交換 ・参加人数は29人（18歳市民含む）+子ども3人
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	<p>市民から多くの意見や相談が寄せられたので、調査検討しながら今後の活動に活かしたい。主なものは、次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治基本条例の策定について ・安曇野市の貧困家庭や子どもの貧困について ・行政は地域活動や文化への意識が薄く、臼井吉見文学館廃止の方針は残念。関連して文化芸術協会について ・「戦争法案」の廃止を求める市民の動きに議員も連動してほしい。 ・もっと地域で議員が出かけて行って、このような会をもっと地域でやってほしい。 ・太陽光発電施設建設に関する公聴会のお知らせ ・会派の報告会は活動の生命線として、毎回定例議会ごとに開催する。 <p>*経費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場費：1,300円 ・資料作成費 400円 ・通信費：会派の議会報告会や意見交換会の案内を希望する市民に案内ハガキ送付。はがき代1,040円のうち1,000円を政務活動費に充当

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。